

# 八百津町 地域おこし 協力隊 活動報告

八百津町地域おこし協力隊の3人(武藤貴子さん、末近亮平さん、黒柳和久さん)が、産業文化祭でブースを出展しました。協力隊の活動を多くの方々に知っていただき、元気なやおつをPRすることが目的です。



## 《黒柳和久》

建設中の福地いろどりむらで、昔ながらの暮らしや、共にある自然の魅力を、福地地区の方々と一緒に発信しています。そんな地域に密着した活動の様子を、パネル展示しました。

福地いろどりむらでは、耕作放棄地を利用し、

そばの栽培を行っています。

普段の草刈り、トラクターによる耕起作業などの展示を通して、そば栽培の難しさと楽しさを伝えました。

また、春と夏に開催された山あそびイベントでの自然体験の様子も紹介。

町内外からやってきた子どもたちがノコギリを使って丸太を切る、いきいきとした表情をパネルで紹介しました。

地域おこし協力隊としての任期は来年8月までとなっておりますが、来年の産業文化祭には必ず参加したい！と思っています。

## 《末近亮平》

今年10月から、新たに地域おこし協力隊として活動を始めた末近さんは、久田見で藍染めを始めています。

藍で染めた衣類は、肌のトラブルに効果があったり、防虫効果が高かったり、たくさんの方が



あります。そんな先人たちの知恵・藍染めのことを多くの方に知っていたり、自分でも染めた糸やストールなどと一緒に展示を行いました。3年後には、夫婦で協力して藍の栽培から染め、加工、販売までを行う店舗をオープンさせたいと希望しています。

初めての産業文化祭は、地域の方々にごあいさつするため、2人の子どもも一緒、家族4人でにぎやかに参加しました。

これから藍染めのための環境を整え、来年の産業文化祭には藍染め体験ブースを出展し、多くの方に藍染めの魅力をお伝えしたいと思っています。

## 《武藤貴子》

八百津町製茶組合と協力して開発した粉末のお茶の試飲、販売を行いました。

近年、その栄養価の高さからメディアにも取り上げられている、粉末茶。おいしくて、気軽に飲むことのできる粉末茶を探している方も多く聞いています。



「八百津茶きよら」を、たくさんの方々に試飲していただき、知っていただくことができました。

産業文化祭は、和やかな空気の中、地域の方々と交流でき、地域おこし協力隊として活動する上でとても価値のある機会でした。

たに、生まれ変わった

「八百津茶きよら」を、たくさんの方々に試飲していただき、知っていただくことができました。

これからも、3人のそれぞれの視点から地域を元気にする取り組みを行っていきます。

どこか見かけたら、ぜひお声がけくださいね！

みなさんとの交流から、素敵なアイディアが生まれるかもしれません！

